学校番号	302

平成 31 年度　音楽

教科	音楽	科目	器楽 （管弦打独奏）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	各専攻楽器の専門楽譜						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自らの楽器の特性や特徴に気付き、まず、技術と表現力を伸ばしてください。弱いところは改善方法を共に探りましょう。独奏、重奏、合奏のそれぞれの形体による音楽の魅力を感じ取り、また、関連をもたせながら自らの楽曲への思いを表現しましょう。

2　学習の到達目標

器楽に関する専門的な学習を通して，楽曲の表現内容を理解し，表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能
観点の趣旨	器楽に関する専門的な学習を通して、音楽文化を尊重し、主体的､創造的に音楽の学習に取り組もうとする。	器楽に関する専門的な学習を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	器楽に関する専門的な学習を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。
評価方法	個人レッスン 定期テスト	個人レッスン 定期テスト	個人レッスン 定期テスト
上に示す観点に基づいて､学習のまとまりごとに評価し､学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点			題材の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4～7月	独奏	課題学習「各専攻楽器による独奏」 基本の練習曲から独奏曲の練習および楽曲分析 演奏発表	○	○	○	a:独奏をすることを通して、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。 b:独奏をすることを通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:独奏をすることを通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	個人レッスン 定期テスト
8～11月		課題学習「各専攻楽器による独奏」 独奏とピアノ伴奏等によるアンサンブル 前曲よりも技術面・表現面ともより高度な作品の練習 演奏発表	○	○	○	a:より高度な作品に取り組むことを通して、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。 b:より高度な作品に取り組むことを通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:より高度な作品に取り組むことを通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	個人レッスン 定期テスト
12～2月		課題学習「各専攻楽器による独奏」 独奏(無伴奏を含む)とピアノ伴奏等によるアンサンブル 前曲よりも技術面・表現面ともより高度な作品の練習 演奏発表	○	○	○	a:より高度な作品に取り組むことを通して、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。 b:より高度な作品に取り組むことを通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:より高度な作品に取り組むことを通して、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	個人レッスン 定期テスト